

- 天保10年、伊勢、大和、京、大阪、四国、九州を見聞きして歩いた。
- 鈴石村の名主をまかされた。
- 安政5年秋、大洪水がおこり、鹿児島県から苗を取りよせて、台明竹を植えさせた。（閑哉竹とよばれた）
- 須賀川の馬鈴薯を取りよせ、村全体に作らせた。（閑哉芋とよばれたが、今は“かんぷらいも”とよばれている）
- 明治元年、戊辰戦争がおきて、諏訪神社のお祭りの日に三春の方から押しよせてきた官軍と話し合いをして、お祭りを続けた。
- 安積三原の開拓をととなえ、運動を行った。
- 明治3年春、今泉一三郎と共に実地踏査をして、建白書を出した。
- 明治5年秋、第三回踏査。
地理、水利を調べ水路の計画をたてた。
- 明治6年8月19日安積疎水の許可を見ないで、74歳の時、病気でなくなった。
- 同年10月開このんこの許可がおり、安積疎水の工事が始まった。



閑哉竹のおいしげる口太川



閑哉の頌徳碑（下長折諏訪神社の鳥居の横）



閑哉のお墓（下長折）

（資料 小浜町郷土読本・岩代町史・小浜小学校沿革史・安積疎水の歴史）